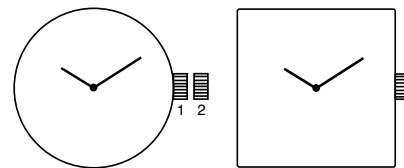


アナログモデル

時刻の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを回し、時間を合わせます。
3. リュウズを1の位置に押し戻します。



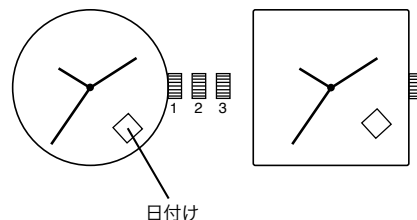
カレンダーモデル

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズ奥に回して日付を合わせます。
3. リュウズを1の位置に押し戻します。

時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. 手前へリュウズを回して針を進め、当日の日付が変わるまで回し続けます。
3. 時分針を正しい時刻にセットします。
4. リュウズを1の位置に押し戻します。



オートマティック ムーブメント

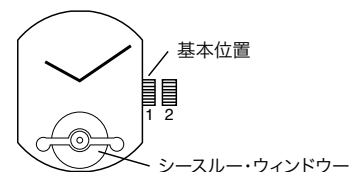
オートマティック ウォッチは手首の動きによって巻き上げられる仕組みになっており、電池が入っておりませんので、何日も使用していないと止まってしまいます。止まってしまった場合は手動で時計回りに十分に巻き上げてください。

手首の動きによって稼動しますので、手首にしっかりと着けてください。あまり緩めに着用していただきますと遅れの原因になります。十分に巻き上げられた状態で約38時間稼動します。

OPEN HEART TY605

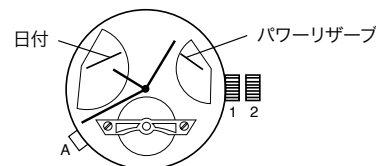
時刻の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに動かして時刻を調整します。
3. リュウズを1の位置まで戻します。



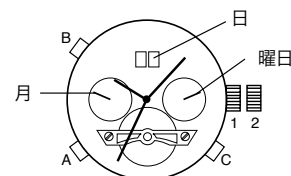
オートマティック 2505

1. 時間が止まっている状態で、時計を作動させるには、リュウズを1の状態から右回りに15-20回、パワーリザーブが "+" になるまで巻いてください。リュウズを2の位置まで引き出し、時刻を合わせます。合わせたらリュウズを1の位置まで押し戻します。
2. Aボタンを押して日付を合わせます。31日までいくと自動的に1日に飛びます。
注: 午後10時から午前2時の間に日付と曜日をセットしないでください。合わせてしまうとムーブメントに支障をきたし、故障原因となります。



オートマティック 2525

1. 時間が止まっている状態で、時計を作動させるには、リュウズを1の状態から右回りに15-20回巻いてください。
2. リュウズを2の位置まで引き出し、時計回りに回して時刻を設定してください。セットしたら、リュウズを1の位置に押し戻します。
3. Aボタンを押して月を合わせます
4. Bボタンを押して日を合わせます。
5. Cボタンを押して曜日を合わせます。
注: それぞれボタンは1日盛りずつ進みます。
注: 午後10時から午前2時の間に日付と曜日をセットしないでください。合わせてしまうとムーブメントに支障をきたし、故障原因となります。



マルチファンクション VX3J

日付の設定

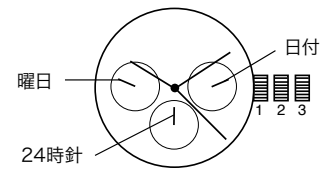
1. 2の位置にくるまで、リユーズを引き出します。
2. リユーズを時計回りに回して、日付の針を進めます。
3. リユーズを1の位置まで戻します。

日付と時刻の設定

1. 3の位置にくるまで、リユーズを引き出します。
2. リユーズを時計回りに回して、時針と分針を進めます。曜日を示す針は、時針と分針とともに動きます。ご希望の曜日が出るまで、リユーズを回し続けます。

24時サブダイヤルの設定

24時針は、時針と分針とともに動きます。時刻を設定するときは、24時針が正しく設定されていることを確認してください。



クロノグラフ VD51B

時刻・日付の設定

1. 設定前に、クロノグラフ秒針と分針が動作していないことと、12時の位置(初期位置)にあることを確認します。詳しくはクロノグラフの操作方法の項目を参照ください。
2. リユーズを2の位置まで引き出します。
3. リユーズを時計回りに回して、前日の日付を表示します。
4. リユーズを3の位置まで引き出します。この時秒針は止まります。
5. リユーズを時計回りに回して時刻を設定します。
6. リユーズを1の位置に戻します。
注: 午前・午後が正しく設定されていることを確認してください。 午後9:00頃から午前3:00頃までの間に日付の設定を行わないようにしてください。 日付機構に不具合が生じるおそれがあります。

クロノグラフの使い方

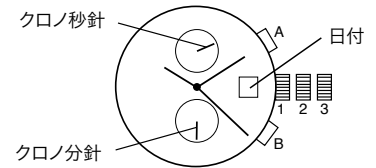
1. Aボタンを押してスタート/ストップできます。
2. Bボタンでリセットします。

積算時間の計測

1. クロノグラフ計測中にBボタンを押します。
2. Bボタンを再び押すと、クロノグラフの動作へ戻ります。
3. Aボタンを押して計測を確定させます。
4. Bボタンでリセットします。

クロノグラフ針を0に調整する

1. リユーズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針を12時(ゼロ)の位置に設定します。Aボタンを1回押すと、クロノ秒針を1秒進めることができます。Aボタンを2秒以上長押しすると、クロノ秒針が早く進みます。Bを押して次の針へと進みます。
注: クロノ分針はクロノ秒針と連動して動作します。(クロノ秒針1回転につき、クロノ分針が1分進みます)
3. Bボタンを押してクロノ分針の位置を設定します。クロノ秒針の設定2.と同じ方法で行います。
4. クロノグラフ針の調整が終了したら、リユーズを1の位置へ戻します。



クロノグラフ 8172(220)

時刻と曜日の設定

1. リユーズを3の位置まで引き出します。
2. リユーズを回して正しい時刻に設定します。
3. 曜日を調整するには正しい曜日が表示されるまでリユーズを24時間分回します(この時自動的に日付も進みます)。
4. リユーズを1の位置に押し戻します。

日付の設定

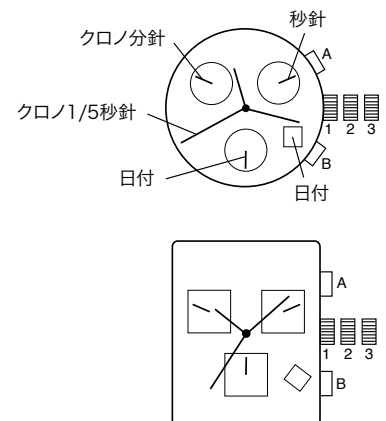
1. リユーズを2の位置まで引き出します。
2. リユーズを奥(時計回り)に回して正しい日付に合わせます。
3. リユーズを1の位置に押し戻します。

クロノグラフ

1. Aボタンを押してクロノグラフのスタート/ストップをします。
2. Bを押すとリセットします。
注: 作動して2時間以上経つと、電池消費を避けるため、自動的にクロノグラフをストップ/リセットします。

スプリット計測

1. クロノグラフの作動中にBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押すと針は計測した所まで進み、クロノグラフに戻ります。
3. Aボタンを押してストップします。
4. Bボタンを押すとリセットされます。



クロノグラフ JS25 / VD53

時刻設定

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. リュースを回して正しい時刻を設定します。
3. 時刻設定後、リュースを1の位置まで押し戻します。

日付設定

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. リュースを時計回しに回し、日付を設定します。
注: もし9pm~1amの間に日付設定を行った場合、その日の日付が変わらない可能性があります。
3. 日付設定後、リュースを1の位置まで押し戻します。

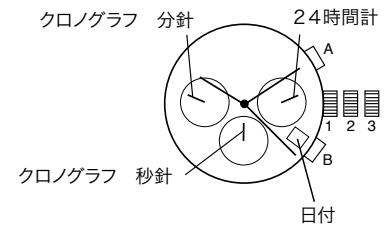
クロノグラフ

1. Aボタンを押して、クロノグラフを作動/ストップさせます。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、0の位置に戻ります。

クロノグラフ ゼロリセット

電池交換後など、クロノグラフ秒針や分針がゼロのポジション(12時のポジション)に戻らない時に、下記の手順を行ってください。

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノ秒針が時計回りに回ります。Bボタンを押すとクロノ秒針が反時計回りに回ります。
 - ・クロノ分針はクロノ秒針に合わせて動きます。
 - ・クロノ秒針はAボタンかBボタンを長押しすると針が早送りで進みます。
3. クロノグラフ針の調整が完了したら、リュースを1の位置へ戻します。



クロノグラフモデル OS10 (日付なし OS30)

時刻の設定

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. リュースを回して時間を合わせます。
3. リュースを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. 正しい日付が表示されるまで、リュースを手前に回します。
3. リュースを1の位置まで押し戻します。

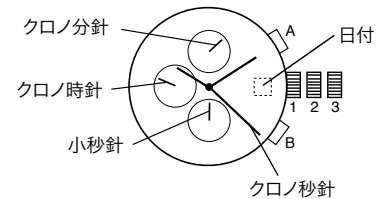
クロノグラフの使用法

1. Aボタンを押して計測のスタート/ストップを行います。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時針が0位置に戻ります。

クロノグラフ針位置の調整(0リセット)

クロノグラフをリセットしても、クロノ秒針がゼロ位置に戻らないときは、この操作を行ってください。

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針をゼロ位置に合わせます。(Aボタンを押し続けることによって、針を早く進めることができます。)
3. 時計を正しい現在時刻に合わせてリュースを1の位置に押し戻します。



クロノグラフモデル OS20 / OS21

時刻の設定

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. リュースを回して時分針を正しい時刻にセットします。
3. リュースを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. 正しい日付が表示されるまで、リュースを手前に回します。
3. リュースを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用法

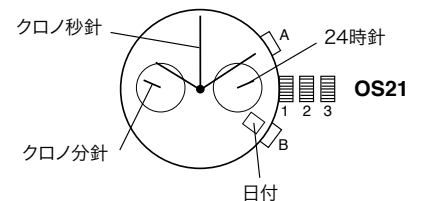
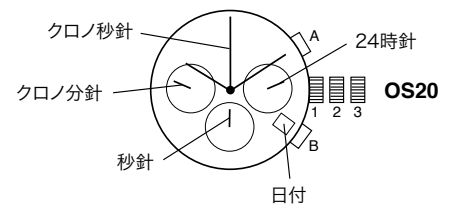
- * 1秒単位1時間まで計測可能です。
1. Aボタンで計測のスタート/ストップを行います。
 2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時針が0位置に戻ります。

クロノグラフ針位置の調整(0リセット)

クロノグラフをリセットしても、クロノ秒針がゼロ位置に戻らないときは、この操作を行ってください。

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針をゼロ位置に合わせます。(Aボタンを押し続けることによって、針を早く進めることができます。)
3. クロノ針をゼロ位置に合わせたら、正しい時刻をセットし直しリュースを1の位置に押し戻します。

* 時計がゼロ位置を誤認してクロノグラフが正しく作動しなくなるおそれがありますので、針の移動中にリュースを1の位置に戻さないようご注意ください。



クロノグラフ VD57 (日付なし VD55)

時刻の設定

1. リューズをカレンダー付モデルの場合3の位置まで、カレンダーが付いてない場合2の位置まで引き出します。
2. 奥(時計回り)の方向へリューズを回して針を進め、正しい時刻にセットします。
3. リューズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用法

1. Aボタン:クロノグラフのスタート/ストップ。
2. Bボタン:スプリットタイムの計測、および、クロノグラフのリセット。

クロノグラフ針位置の調整

クロノグラフ針がゼロ位置からずれている場合は、リューズを引きAボタンとBボタンを同時に2秒間以上押し続けてください。手を放すとクロノグラフの秒針と1/10秒針がぐるっと回転し、ゼロ位置に戻ります。

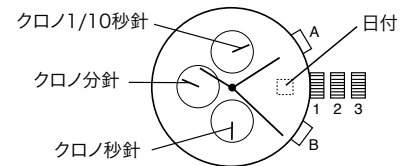
クロノグラフをリセットした後や、電池を交換した後など、クロノ針がゼロ位置に戻らないときに、下記の手順を行ってください。

1. リューズを2(カレンダー付モデルは3)の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノ1/10秒針のゼロ位置を調整することができます。
3. Bボタンを押すとクロノ秒針とクロノ分針のゼロ位置を調整することができます。針は時計回りの方向にのみ進みます。
4. Aボタン、Bボタンとも1回押すごとに1目盛り分進みます。ボタンを長押しすると針が早送りで進みます。
5. リューズを1の位置まで押し戻します。

注)針がゼロ位置に戻る前にリューズを通常位置に戻さないでください。リューズが通常位置に戻された時に途中で針が止まり、その位置がゼロ位置と認識され、その位置から計測が始まってしまいます。

日付の設定(カレンダー付モデル VD57対象)

1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. 奥(時計回り)の方向に回して正しい日付を表示させます。
3. リューズを1の位置まで戻します。



クロノグラフ&日付モデル FS20

時刻の設定

1. リューズを3の位置まで引き出します。全てのクロノ針がゼロ位置に戻ります。針がゼロ位置に戻る前にリューズを通常位置に押し込まないでください。
2. リューズを回して時針、分針、24時針を合わせます。
3. リューズを1の位置まで戻します。

日付の設定

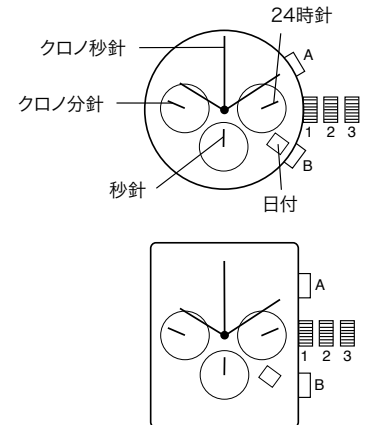
1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. リューズを奥(時計回り)に回して日付を合わせます。
3. リューズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用法

1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタート/ストップします。
2. Bボタンを押すとクロノグラフがリセットされます。

クロノグラフゼロリセット

1. リューズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノグラフ秒針がゼロ位置に戻ります。長押しすると早送りで針は進みます。
3. クロノ秒針がゼロ位置に戻ったら、リューズを1の位置に戻します。



ワールドタイムモジュール

時刻/日付の設定

- 1. ポジション2にクラウンBを引き抜き、時計回りに回して前日の日付に設定します。
- 2. ポジション3にクラウンBを引き抜き、現在の日付が表示されるまで時計回りに回します。
正確なa.m./p.m. 時間を設定するにはクラウンを回し続けます。
- 3. クラウンBをポジション1に戻します。

注意：午後10時から午前2時の間は、日付を変更しないでください。これは、自動日付変更を実行するための位置にムーブメントがあるためです。
この位置にあるときの干渉はムーブメントにダメージを与える恐れがあります。

デュアルタイムゾーン/GMTの設定

- 1. ポジション2にクラウンBを引き抜き、反時計回りに回して第2タイムゾーンを設定します。
第2タイムゾーンハンドは、ダイヤルの外側部分の24時間リングで示されるミリタリータイムで読み込まれます。
第2タイムゾーンでは、グリニッジ標準時間 (GMT) または第2タイムゾーンの設定が可能です。
- 2. クラウンBをポジション1に戻します。
- 3. オプション：クラウンAを回して、都市インジケータのベゼルで第2タイムゾーンの都市を調整します。

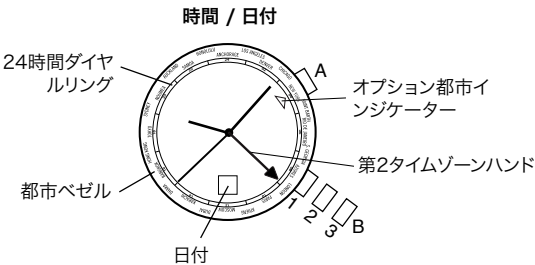
世界各地のタイムゾーンの読み込み

- 1. クラウンAを回して、24時間リングの現在の時間のベゼルで現在の都市に位置を合わせます。
- 2. 他の場所に時間を指定するには、別の都市に対応する24時間リングの時間メーカーを読みます。
以下のリングが時計回りの場合時間を進めます。以下のリングが反時計回りの場合時間を戻します。

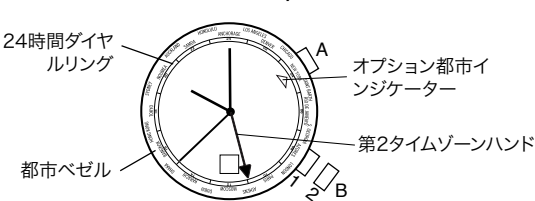
ワールドタイムゾーンテーブル

備考：各都市の時差および夏時間の使用は、それぞれの国または地域の政府の基準に従ってください。

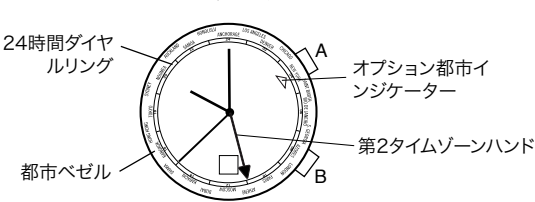
都市	時差
サモア、ミッドウェー島	-11時間
ホノルル	-10時間
アンカレッジ	-9時間
ロサンゼルス、サンフランシスコ	-8時間
デンバー、エドモントン	-7時間
シカゴ、メキシコシティ	-6時間
ニューヨーク、ワシントンD.C.、モントリオール	-5時間
セントパウル、サンティアゴ	-4時間
リオデジャネイロ	-3時間
サウス ジョージア	-2時間
アゾレス諸島	-1時間
ロンドン、カサブランカ	0時間
パリ、ローマ、アムステルダム	+1時間
アテネ、カイロ、イスタンブール	+2時間
モスクワ、ジッダ、メッカ、ナイロビ	+3時間
ドバイ	+4時間
カラチ、タシケント	+5時間
ダッカ	+6時間
バンコク、ジャカルタ	+7時間
香港、マニラ、北京、シンガポール	+8時間
東京、ソウル、平壤	+9時間
シドニー、グアム、ハバロフスク	+10時間
ヌメア、ソロモン諸島	+11時間
オークランド、ウェリントン、フィジー島	+12時間



デュアルタイムゾーン / GMT



ワールドタイムゾーン



アナログ デジタル

通常の時刻表示

1. 通常の時刻表示モードでは、Aを押して、12時間/24 時間表示を切り替えます。
2. Bを押して、日付モードを表示します。

時刻とカレンダーの設定

1. Aを2秒間押し続けると、設定モードになり、“年”が点滅し始めます。
2. Aを押して、年、月、日、時、分、秒を選択し、設定モードを終了します。
3. Bを押して、桁を調整します。
4. Bを押し続けると、桁が自動的に調整されます。
5. 何も操作せずに30秒が経過すると、設定は通常の時刻表示に戻ります。

クロノグラフ

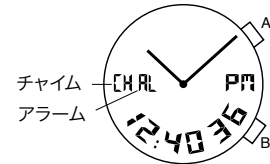
1. Bを押して、クロノグラフモードを選択します。
2. Aを押して、クロノグラフをスタート/ストップします。
3. Bを1秒間押し続けて、リセットします。

アラームの設定

1. B を押すと、アラームモードになります。
2. Aを押して、チャイム/アラームをオン/オフにします。
3. Aを2秒間押し続けると、設定モードになり、“時”が点滅し始めます。
4. Aを押して、時と分を選択します。
5. Bを押して、桁を調整します。
6. Bを押し続けると、桁が自動的に調整されます。
7. アラームの設定を変更すると、アラームは自動的にオンの状態になります。
8. 何も操作せずに30秒が経過すると、設定は通常の時刻表示に戻ります。

オフモード

Bを4回押して、時刻モードをオフにします。



10 ハーフ デジタル アナデジ CY2072 / CY2073 / CY2074

通常時刻モード

1. Aボタンを押して、モードを切り替えます。
2. Bボタンを押すとEL昨日のオン/オフを切り替えます。
3. ELバックライトはBボタンを長押ししている間点灯します。

12/24時間設定

時刻モードから、Cボタンを押して12時間モードか24時間モードか切り替えます。

時刻設定

1. 時刻モードから、Aボタンを三回押し、Dボタンを押すと時刻設定モードに切り替わり、“秒”が点滅します。
2. Cボタンを押して、秒を“00”にリセットします。
3. Dボタンを押して値を選びます。Cボタンを押して、時刻、分、曜日、日付を設定します。
4. 設定が終了したら、Aボタンを押すと、通常時刻モードに戻ります。

アラームの設定

1. 時刻モードから、Aボタンを押すとアラームモードに切り替わります。Cボタンを押してアラームのオン/オフを選択します。
2. Dボタンを押すと、“時間”が点滅します。
3. Dボタンを押して値を選び、Cボタンをおして、時間と分の順に進みます。
4. 設定が終了したら、Aボタンを押すと、通常時刻モードに戻ります。

アラームと時報の設定

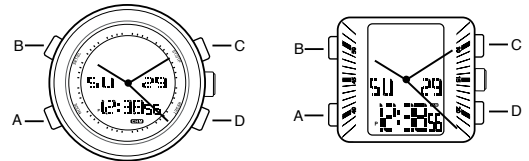
アラームモードから、Cボタンを押して、アラームのオン、時報のオン、アラームと時報のオン、又はアラームと時報のオフ を選びます。

クロノグラフ モード

1. 時刻モードから、Aボタンを2回押すとクロノグラフ モードに切り替わります。Dボタンを押すとクロノグラフがリセットします。
2. Cボタンを押すと、クロノグラフがスタート/ストップします。

ラップ計測

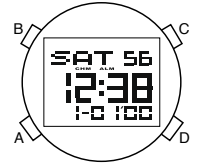
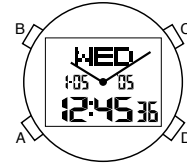
1. クロノグラフ計測中にDボタンを押すと、ラップが計測できます。
2. Dボタンを押すと、クロノグラフ計測ディスプレイに戻ります。
3. Cボタンを押すと、ラップがスタート/ストップします。
4. Dボタンを押して、ラップタイムを表示させます。
5. Dボタンを押して、クロノグラフをリセットします。
6. クロノグラフが“23:59:99”に達すると自動的にリセットされ、“00:00:00”から計測されます。



ワールド・タイム・モジュール

通常の時刻表示

1. Bを押して、ELライトを使用します。
2. Cを押して、チャイムのオン/オフを切り替えます。
3. 都市を選択するには、Dを押して、DSTの オン/オフを切り替えます。
4. モードや設定にかかわらず、何も操作せずに60秒が経過すると、設定は通常の時刻表示に戻ります。



時刻およびカレンダーモード

1. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。12時間/24 時間表示が点滅し始めます。
2. Cを押して、12時間/24時間表示を選択します。
3. Aを押して、秒、分、時、年、月、日、および都市を選択します。
4. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。
5. Bを押して、設定モードを終了します。

ワールドタイムモード

1. Aを押して、世界の時間モードを選択します。
2. Cを押して、都市を選択します。
3. 都市を選択するには、Dを押して、DSTの オン/オフを切り替えます。

単語	都市	時差	単語	都市	時差
MDY	Midway	-11 時間	PAR	Paris	+1 時間
HNL	Honolulu	-10 時間	CAI	Cairo	+2 時間
ANC	Anchorage	-9 時間	MOW	Moscow	+3 時間
LAX	Los Angeles	-8 時間	DXB	Dubai	+4 時間
DEN	Denver	-7 時間	KHI	Karachi	+5 時間
CHI	Chicago	-6 時間	DAC	Dacca	+6 時間
NYC	New York	-5 時間	BKK	Bangkok	+7 時間
CCS	Caracas	-4 時間	HKG	Hong Kong	+8 時間
RIO	Rio de Janeiro	-3 時間	TYO	Tokyo	+9 時間
-2H	-2H	-2 時間	SYD	Sydney	+10 時間
-1H	-1H	-1 時間	NOU	Noumea	+11 時間
LON	London	0 時間	AKL	Auckland	+12 時間

アラームの設定(アラーム音3 種)

1. Aを押して、アラームモードを選択します。
2. Cを押して、アラーム各種をスクロールします。
3. Dを押して、アラームのオン/オフをします。
4. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。“分”が点滅し始めます。
5. Aを押して、分と時を選択します。
6. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。設定が変更されると、自動的にアラームがオンになります。
7. Bを押して、設定モードを終了します。

クロノグラフモード

1. Aを押して、クロノグラフモード(STW)を選択します。
2. Cを押すとクロノグラフがスタートし、Dを押すとストップします。
3. 非実行中にDを押すと、クロノグラフがリセットされます。

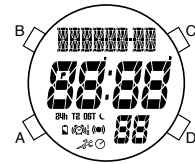
ラップカウント

1. クロノグラフの実行中にDを押します(最高99ラップまで記録)。
2. Dを押して、タイミングを決定します。
3. クロノグラフに情報が記録されている場合、Aを押すと、ラップ数(TOT)を表示することができます(最高20ラップまで表示)。
4. Cを押すと次のラップ、Dを押すと前のラップを見ることができます。
5. 通常のクロノグラフモードを開始します。Dを押して、ゼロにリセットします。

カウントダウン・タイマー

1. Aを押して、タイマーモードを選択します。
2. Cを押して、タイマーをスタート/ストップします。
3. 非実行中にDを押すと、タイマーがリセットされます。タイマーが再スタートする前は、すべての値がゼロを示します。
4. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。“秒”が点滅し始めます。
5. Aを押して、時、分、秒を選択します。
6. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。
7. Bを押して、設定モードを終了します。

DIGITAL X1



通常時刻モード

1. Aボタンを押すと、アラーム→カウントダウンタイマー→クロノグラフの順でモードを移行できます。
 2. Aボタンを3秒間長押しするとオートEL機能のオン/オフができます。
 3. Bボタンを押すとELバックライトが点灯します。
 4. Cボタンを押すと時報機能のオン/オフができます。
 5. Dボタンを押すとタイム2が表示されます。 Dボタンを3秒間長押しするとタイム1とタイム2の表示切り替えができます。
- 注：どのモードでもCボタンを3秒間長押しするとクロノグラフ・モードに移行できます。

時刻/日付の設定

1. 通常ディスプレイでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
 2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
 3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
 4. 2.と3.の手順を繰り返し行い設定します。 設定は、時、分、秒、年、月、日付、12/24時間表示選択、月/日または日/月表示の選択、の順で進みます。
 5. Bボタンを押して設定を終了します。
 6. タイム2の時刻を設定するには、Dボタンを3秒間長押しして、タイム2を表示し、1.から5.の順序でタイム1と同様に設定します。
- 注：曜日は設定した年月日に応じて自動的に設定されます。
- 注：設定中どこでもBボタンを押して設定を終了することができます。
- 注：設定途中に30秒間何も操作をしなかった場合、それまで設定した値が保存され、通常時刻表示へ戻ります。

リコール(情報呼び出し)モード

1. 通常時刻モードでAボタンを押して、リコール・モードに移行します。
- 注：保存されたデータが存在しない場合には、“NO DATA”(データなし)を表示されます。 データが保存されている場合、セット1から最大でセット9まで順に表示します。
2. Cボタンを押して、データを次の順で閲覧できます：トータル・タイム、ベスト・タイム、平均タイム、各ラップタイム(最大100ラップ)
 3. Dボタンを押すと現在のセットを表示します。 さらにDボタンを押すと次のセットを表示します。
 4. Dボタンを3秒間長押しすると表示されているセットのデータをリセットすることができます。
- 注：リコール・モード中にAボタンを押すと、アラーム・モードへ移行します。

アラーム・モード

1. リコール・モードでAボタンを押して、アラーム・モードに移行します。
2. Cボタンを押して、アラームのオン/オフを選択します。
3. Dボタンを押すと、アラーム1とアラーム2の切り替えができます。

アラームの設定

1. アラーム・モードでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
 2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
 3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
 4. 2.と3.の手順を繰り返し行い設定します。 設定は、時、分、タイム・ゾーン1/タイム・ゾーン2の選択、の順で進みます。
 5. Bボタンを押して設定を終了します。
- 注：アラームは設定した時間に20秒間鳴ります。いずれかのボタンを押して、途中で止めることも可能です。

カウントダウン・タイマー・モード

1. アラーム・モードでAボタンを押して、タイマー・モードに移行します。タイマー初期設定は5分になっています。
 2. Cボタンを押してタイマーをスタートします。Dボタンを押すとタイマーを途中で止めることができます。
 3. Dボタンを3秒間長押しするとタイマーがリセットされ、もとの設定した数値が表示されます。
- 注：タイマーを始動して、カウントがゼロになるとアラーム音が20秒間鳴ります。いずれかのボタンを押して、途中で止めることも可能です。

カウントダウン・タイマーの設定

1. カウントダウン・タイマー・モードでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
4. 2.と3.の手順を繰り返し行い設定します。 設定は、時、分、秒の順で進みます。
5. Bボタンを押して設定を終了します。

クロノグラフ・モード

1. どのモードでもCボタンを3秒間長押しするとクロノグラフ・モードに移行できます。
2. Cボタンを押してクロノグラフをスタートします。Dボタンを押すとカウントを止めることができます。
3. Dボタンを3秒間長押しするとクロノグラフがリセットされ、ゼロに戻ります。

ラップ計測

1. クロノグラフ計測中にCボタンを押すと、ラップが計測できます。
- 注：Cボタンを押した後、5秒間何もボタンを押さないと、自動的にトータルタイムを表示し、カウントを続けます。
2. Bボタンを押して、次のラップに移行します。(最大100ラップ)
 3. Dを押してクロノグラフをストップします。
 4. Bボタンを3秒間長押ししてデータをセーブするか、またはDボタンを3秒間長押しするとクロノグラフがリセットされ、ゼロに戻ります。
- 注：セーブが完了すると、画面には次の新しいセットが表示され(1-9)、メモリーがフルで空きがない場合には、リコール・モードへ移行し、セーブしたデータを閲覧できます。

防水機能について

耐水性		使用例			
裏面の表示	深度				
		手洗い	シャワー 入浴	水泳 シュノーケリング	スクーバダイビング
—	—	X	X	X	X
WR	—	○	X	X	X
3 ATM	3バール 30メートル	○	X	X	X
5 ATM	5バール 50メートル	○	○	X	X
10 ATM	10バール 100メートル	○	○	○	X
20 ATM	20バール 200メートル	○	○	○	○
30 ATM	30バール 300メートル	○	○	○	○
50 ATM	50バール 500メートル	○	○	○	○
注意事項 ・ リュウズは常に通常位置に設定して下さい。 ・ 上記の表では手洗いが○と記載されている防水性の商品につきましても、蛇口及びシャワーからの水流が直接時計に当たりますと基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意ください。 ・ 上記の表ではシャワーと入浴が○と記載されている防水性の商品につきましても、温水での使用はパッキンを変質させ、浸水させる原因になりますので、ご注意ください。 ・ クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中で使用されますと、浸水することがありますので、水中でのボタン操作は避けください。 ・ 10ATM/10バール/100メートルの防水性の商品は水泳時に使用可能ですが、水中で腕を強く振る等すると基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意ください。					